

法曹倫理国際シンポジウム東京2016

弁護士は依頼者のために、公益のために、何をなすべきか？ なぜか？
米国等における弁護士の社会的役割と比較しつつ、
日本における弁護士、そして、弁護士会の職業倫理的当為を問う。

PROGRAM

3/19 sat 〈開会の辞〉 高中正彦 [弁護士・日弁連弁護士倫理委員会委員長]
9:30- 司会：古田啓昌 [東京大学教授・弁護士]
9:50 〈基調報告〉「**弁護士の本懐**」 森際康友 [企画委員長・名古屋大学教授]

第Ⅰ部 信認関係からみた弁護士の役割

9:50- 信認関係と契約
12:00 ● 田村陽子 [筑波大学教授]
コモンローの議論からみた弁護士の役割
● 石田京子 [早稲田大学准教授]
わが国における弁護士の職業的役割と責任
——内部通報制度における弁護士倫理上の諸問題を手がかりに
● 浜辺陽一郎 [青山大学大学院教授・弁護士]
第Ⅰ部 シンポジウム

第Ⅱ部 弁護士の専門家責任

3/19 sat 司会：古田啓昌
13:45- 依頼者への誠実義務と公益配慮義務
17:00 ● 高中正彦
依頼者への誠実義務と公益配慮義務——米国の場合
● Bradley Wendel [Cornell大学教授] 通訳：石田京子 田村陽子
第Ⅱ部 シンポジウム
《レセプション》17:30- 有料

第Ⅲ部 企業社会における弁護士の公益的役割

3/20 sun 司会：石畔重次 [弁護士・日弁連弁護士倫理委員会委員長]
9:30- 組織内弁護士の公益義務
10:30 ● 名取勝也 [弁護士・オリンパス株式会社社外監査役]
弁護士のゲートキーパーとしての役割
● 片山 達 [弁護士・日弁連国際刑事立法対策委員会事務局長]

第Ⅳ部 まとめ

10:30- 弁護士の公益的役割と職務の独立性
12:05 ● 市川 充 [弁護士・日弁連弁護士倫理委員会委員]
シンポジウム
〈閉会の辞〉 森際康友

弁護士の職業的役割と責任 弁護士の本懐

2016年3月19日[土]・20日[日]
東京大学山上会館大会議室

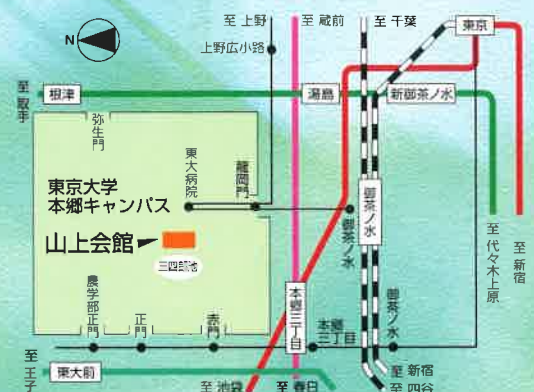
● 参加無料・要事前申込(先着90名様) ● 参加対象者：法律専門職・研究者

主催 ● 公益財団法人 日弁連法務研究財団
財団研究110
「弁護士非行に対する責務等、弁護士会の職業倫理的当為の研究」
科研費基盤研究B 15H03302
「法曹倫理の3元的展開——当事者・法曹・専門職自治組織の役割」

協賛 ● 公益財団法人 社会科学国際交流江草基金 / 公益社団法人 商事法務研究会
愛知法曹倫理研究会 / 早稲田大学法曹倫理研究会

お申し込み先 ● 日弁連法務研究財団 財団研究110連絡先

弁護士・矢野亜紀子 yano@mishimalaw.jp



駅(地下鉄)から会場(山上会館)までの所要時間

◎東京メトロ丸の内線・都営大江戸線「本郷三丁目」より徒歩約15分

◎東京メトロ南北線「東大前」より徒歩約15分

◎東京メトロ千代田線「根津」より徒歩約15分